

令和7年度 第2回千葉県行政改革審議会 開催概要

1 日 時 令和7年10月16日(木) 午後2時00分から午後3時10分まで

2 場 所 千葉県庁本庁舎5階 特別会議室

3 出席者

青柳 洋治委員、石川 久委員(会長)、岩崎 尚子委員(オンライン)、遠藤 雅彦委員、大谷 益世委員、金子 庄吉委員、佐久間 英利委員、宮入 小夜子委員、村上 典子委員

県：高梨副知事(あいさつまで)、前田総務部長、齋藤総務部次長、新村総務課長、齋藤資産経営課長、山本行政経営室長

4 高梨副知事あいさつ

ご出席の皆様におかれましては、お忙しい中、お集まりいただき、誠にありがとうございます。

また、委員の皆様におかれましては、引き続き、当審議会の委員をお引き受けいただき、重ねて感謝申し上げます。

本日は、「千葉県行財政改革計画」の改訂原案について、議論していただきます。

本県を取り巻く環境は、本計画の策定時から大きく変化しており、特に、本格的な人口減少社会への対応は、県政の大きな課題となっています。

この度、新たに策定した総合計画においては、成田空港の拡張事業や圏央道など広域的な道路ネットワークの整備を生かして千葉県への「人・モノ・財」の流れを創出し、地域の更なる活性化につなげていくことなどにより、人口減少に対応していくこととしています。

こうした状況の中、行財政運営を維持し、一層複雑化する行政課題や多様な県民ニーズに的確に対応していくためには、更なる業務の効率化や職員の生産性の向上に取り組んでいく必要があります。7月に開催した前回の審議会では、本計画の改訂素案について御審議いただきました。

本日は、前回の審議会でもいただいたご意見を踏まえて作成しました改訂原案について、ご説明をさせていただきますので、それぞれのお立場から、忌憚のないご意見をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

職員の働きやすさ、人口減少など課題が山積しておりますが、その中でも千葉県庁職員の力を十分に発揮できる体制を作って、行財政改革ともども総合計画を確実に推進して、県民のために事業を進めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

5 会長選出

会長は委員の互選により選出、職務代理者は会長の指名による。
宮入委員から石川委員への推薦あり。

会 長：石川 久委員
職務代理：宮入 小夜子委員

【会長あいさつ】

ただいまご推挙いただきまして、大変光栄に存じております。

この審議会では、各委員がそれぞれの立場から、たくさんお話をしていただいて、県の方に受けとめていただくということが、肝要ではないかと思っております。

また、運営にはぜひご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

6 議 題

「千葉県行財政改革計画」の改訂原案について
(総務課長から資料に基づき説明)

【佐久間委員】

全体的には良くできていて、修正はしなくて良いと思います。

67 ページの歳入歳出の見通しのところですが、財政調整基金の今の残高はいくらなのでしょうか。

【財政課】

昨年度の決算時点の残高で、約 1000 億円です。

【佐久間委員】

まだ余裕があり、税収が上がったときに貯めていたので取り崩し可能ということでしょうか。

【財政課】

ここ数年で貯めてきているお金になりますが、財政調整基金は 2000 億円の活用が見込まれているところ、実際には 1000 億円しかなく、全然足りていない状況のため、取組を進めて何とか取り崩しの縮減を図りたいと考えております。

【佐久間委員】

わかりました。

それから、個票のところで何点かあります。

12 ページの「弾力的な組織の見直し」の個表に「各部局の意見、要望を踏まえ」と書いてありますが、これだとなかなか行政改革は進まないのではないのでしょうか。

トップダウンで進めていく必要があるので、この書きぶりを直すとすれば、「要望を聴きながら」とか、「要望を聴きつつ」とかにした方が良いと思います。

「要望を踏まえて」だと、各部局は必ず、人が足りないとか予算がないと言ってくると

思うので、そうすると全然進まないのではないのでしょうか。

あとは、既存の業務から、何人抜くかということは、ここには書けないのかもしれませんが、そういう計画もぜひ、庁内で作っていただきたいと思います。

それから 13 ページのところで、児童相談所の体制強化とか盛土規制法の対応とか書いてありますが、新しく業務が出たから人を増やすのではなくて、既存業務で余っている人を別の業務に回すというようなことで、全体の人数を増やさないようにご努力いただきたいと思います。

それから 34 ページの事務事業の見直しです。

これも、抜本的な見直し期間を設けて、短期間で集中的におやりになった方が良いのではないのでしょうか。

だらだらとやっていると、なかなか進まないのではないかと思います。

それから 36 ページの P F I の活用です。

現状を私どもの銀行の担当に聞いたところ、給食センターでは P F I を多く使っていて、それが一巡したということや建設コストが上がっていて P F I では採算が取れないということを知りましたが、状況も変わると思いますので、ぜひ民間の方に声をかけて進めていただきたいと思います。

【総務課】

現状において、この場で回答するのが難しいところがございます。

佐久間委員からご意見いただいた定員についてもしっかりと見直しをして全体を抑えていくというところ、当然、人口減少の社会となっていきますので、そういうところはきちんと踏まえていきたいと思います。

また、事務事業についても、事業を進めていく中で、今回の計画でもいろいろな指標を作りましたので、そういうものをしっかりと意識しながら仕事を進めて、随時、取組の有効性、効果性を職員一人ひとりが意識して仕事できるようにしていきたいと思います。

【遠藤委員】

今回、計画を拝見させていただきまして、前回の素案で出た意見を反映していただきまして、概ね修正ができているのかなというふうに考えています。

中身については、私としてもあまりしゃべることはないかと思っています。

ただ、かなり細かい話ですが、計画の指針の 1 ページ目の一番下にウェルビーイングの説明が注釈としてついています。

確かにウェルビーイングというのは、まだ一般の県民の方にはなじみのない言葉だと思いますので、注釈を載せるというのは必要なことだと思いますが、この文章が約 500 文字ぐらいあって、原稿用紙一枚分くらいで丸が 1 つしかないという非常に読みにくい文章になっています。

もうちょっと要点がわかるように、つまらない話ですけど修正していただきたいと思います。

また、これを見ながら私も思ったのですが、我々も知らず知らずのうちに専門用語を使っていて、県民の皆さんの視点から見れば、この言葉は何？というのものもあるかもしれませ

るので、今後、最終稿において必要があれば注釈を加えていくなど、ちょっと違う視点からみて考えていただければなというふうに思います。

それから、定員管理・定数管理について、ご発言がありましたので、私からも一言申し上げますと、例えば児童相談所で業務が非常に増えています。

それから、いわゆる人即事業と言われているもので、人数を増やしていかないと対応できない事業というものがあるということは十分承知しておりますし、委員も当然それを前提とした上で、見直していただくというようなご意見だというふうに思います。

ただ、こういう福祉系の仕事や人即事業は良いのですが、その人がやっていることが、例えば報告書を書いている時間の方が、実際に児童と対話している時間より長くなるみたいな部分があります。

実はやっている人たちも、そういうことを丁寧にやるのが仕事だと思い込んでいるところもあったりして、中には引き継ぎの方が、時間がかかるみたいな本末転倒なことが起きたりしております。

多分、千葉県でも同じようなことがあるのかなというふうに思いますので、人員を増やすのは大切かもしれませんが、バックヤードの部分であるとか、それに付随する業務の効率化で生産性を上げていくということも重要なのかなというふうに思っておりますので、単純な言葉で、定数削減とか定数抑制とかということにならないように、委員の意見を踏まえながら具体的な検討を進めていただければというふうに思っております。

これは中身の修正ということではないですし、発言の趣旨が変わるわけではありませんけど補足として申し上げました。

【宮入委員】

まず質問が1つあります。

先ほどご説明がありました資料の最後のページの歳入歳出に見通しに財源不足というように書いてありますが、その対応についてです。

ふるさと納税について、首都圏や都市部だと出ていく方が多いのですが、千葉も場所によっては、どちらかというと首都圏に近い行動傾向かなと思います。

ただ、千葉県全体で見ると非常に資源も豊富ですし、農産物の生産も豊富ですので、いろいろな市でもやっていると思いますが、千葉県として積極的にふるさと納税を財源として全国から集めるような取組はされているのでしょうか。

それを当てにしてもだめなのですが、それだけ豊富な資源があるわけですし、東京都や千葉県は人口がちょっと増加していますが、千葉県は意外と地方から見ると中途半端なイメージだと思うので、そこで注目や関心を持ってもらうきっかけにもなると思います。

その積極的な取組、あるいは、県としてそれをどれぐらい税収につなげようとしているのかというところを、まず教えていただければと思います。

【財政課】

ふるさと納税に関しては、例えば他県と比べて積極的かというところというとなかなか難しいところがありますが、本県でやっている取組としては、1つはふるさと納税関連のサイトと連携をしています。

それと、高校のチャレンジ基金ということで、基金を設置して学校ごとにお金が集まったらこういうことをやりたいというのを打ち出してもらって、いろんな方から寄付を集めて、ある程度たまったら、そのやりたいこと、例えば部活の関係の費用であるとか生徒の自主的な取組とかそういうものに活用するということをやっています。

それと、有害鳥獣の捕獲の関係で、応援していただく協力隊という形で寄付を集めたりもしています。

そのような取組で、具体的な額は手元になく申し上げられませんが、寄付やふるさと納税を集めています。

【宮入委員】

ありがとうございます。

もちろん、地方のすごく頑張っている自治体に比べて、千葉県はそんなに困っていないし、力を入れている度合いが違うとは思いますが、ただやっぱり、それも1つの税収・財源の1つです。

例えば、成田空港に力を入れていこうとしているのが次の総合計画ですが、成田空港をもっと使いやすくするために寄附をお願いしますとか、全国からいろいろな利用者がいる場所については、もっともっと施設のことも含めてアピールしながら、そういったふるさと納税の使い道を提案するというのも、1つかと思います。

ですので、どちらかというところの方が頑張るというのがふるさと納税ですから、もう一度見直して、財源の1つとしてとらえていただくのはどうかなということで、質問させていただきました。

それから中身に入らせていただきまして、やっぱり、私はウェルビーイングのところは指標を作って設定していただいたので、ざっと拝見させていただきましたが、1個1個の指標を見て、上がったからワークライフバランスはよかったねとか、ワークライフバランスが良くなったけど、業務時間の創出というのが業務改革から生まれているわけではないとなったらあまり意味がないわけです。

これさえよければ良いということではなくて、どうやってワークライフバランスがとれているのかというような相関をしっかりと見ていただくというのが大事なかと、この指標を見て感じました。

それから、例えば31番のボトムアップ型の政策提案の実施です。

これは前の評価のところでも質問させていただいたところでも、県の提案が国にどれぐらい採用されたかという採択件数で評価していて、推進はしたけど評価はBだったということがわかりましたが、おそらく31番もそれに近いところがあるのかなと思って拝見いたしました。

つまり、提案があって、知事にプレゼンをして選定されたら1件2件と数えるということですが、どちらかというところ、量が質を担保するみたいなのところもありますので、一騎当千ではなくて、どんどん出てくるという方が大事かと思います。

こんなもの、という感じではなくて、どんどん積極的にあれもこれも出してみよう、言ってみよう、みんなでやってみようということが、相談できるとか、意見を言えるとかと

いう風通しのよい職場づくりと通ずるところがあると思います。

母集団をしっかりと作っておいて、そのうちにだんだんと良いものが増えてくるというような考えもありますので、結果だけを評価するというようなとらえ方は少し気をつけたほうがよろしいのではないかと思います。

ちょっと気になったところだけ申し上げました。

【村上委員】

今回、非常に各委員からの意見を取り入れてブラッシュアップされて、非常に良くなったなというふうな印象でわかりやすくなったと思います。

特に指標のところで、やはり数値化して進捗状況を確認するのはとても大事なことだと思いますが、先ほどちょっとご指摘ありましたが、数値化にこだわった挙げ句、それに振り回されないようにしていただきたいなというふうに思っております。

例えば市町村との連携というところで会議の数というふうになっていますが、会議の数が多ければ連携ができるということではもちろんないと思います。

できるだけ数値化しようという、その努力はとても大事ですが、それを内容がどうだったのかというところをまた1歩進めていただきたいなというふうに思っております。

また、例えば3年以内の離職率というところは、数字やパーセンテージで表されていて、少なければ少ないほど良いわけですが、将来につなげるためにも、数だけではなくて離職する理由が一体どこにあるのかというようなことについてできる限りインタビューしていくことに御尽力いただきたいなというふうに思います。

【総務課】

まず、遠藤委員からわかりやすさというご意見をいただきました。

当然、県民の方に見ていただく計画でもあります。職員がまず理解しなきゃいけないというところもありますので、職員がしっかり意味がわかるような形で、改めて見直し等をしていきたいと思います。

それと、指標のところについて、宮入委員、村上委員から数字だけに振り回されないというご意見を賜りました。

この計画を回していく中で、効果としてその数字が、実際に意味があるのかとか、そういうことをしっかりと考えながら、ご意見いただいた部分以外でも、指標自体を見直すとか、個票の記載を改めるなどしながら進めていきたいと考えています。

【青柳委員】

質問というより見させていただいた意見ですが、私も全体を見させていただいた中では非常に良くまとまっているし、計画のとおりによっていけば、絶対に良いふうに改善していくのは間違いないだろうなという感想を持ちました。

大切なのは、これを文字で終わらせるのではなくて、どうやって職員の皆さんに浸透させていって、職員の皆さんがきちっと腹落ちをして、このとおりにやれば、県民に対する行政サービスの質の向上ができるという達成感や県庁で働くということの働きがい、エンゲージメントを高めていくということが肝要だろうというふうに思います。

他の委員の皆さん方からご意見ありましたが、皆さんがこれをきちっと理解して実行し

たことによって、ここまで達成度が上がりましたということが見える化できれば、さらに職員の皆さんのエンゲージメントも上がっていった相乗的に良い効果を生むだろうなという感想を持ちました。

簡単ですが、そういう意見です。

【大谷委員】

私の方からは、少し余談になりますが、県税収入等の財源確保についてです。

過去からなかなか徴収率が上がらないということで、大変苦勞されていると思います。

国もそうですが、マイナンバーの取得について、なかなか 100%というわけにはいかなくて、やはり抵抗ある方もいらっしゃるし、いろいろな事情があって取得できない方もいらっしゃると思いますが、ぜひマイナンバーの取得を促して、マイナンバーの活用を、今後課題として考えていただきたいと思います。

と申し上げますのは、例えば今保険証がなくなって、どこの病院や薬局でもマイナンバー機器が設置されて、気がついたら、マイナンバーをそこに提示するようになったので、私も常時持ち歩くようになりました。

それから、例えば消費税につきましても、今は適格請求書発行事業者の登録をしないと、消費税がなかなか徴収しにくくなったという現状がありますし、法人も法人番号がないと、有無を言わず登録抹消されているような現状もあります。

今年になりまして財務省や金融庁の方では、個人口座をなるべくマイナンバーで紐づけておかないと、相続や銀行が破綻したときに事務手続が大変なので、ぜひ金融機関に登録してくださいということを徐々にやっています。

確かにマイナンバーの活用というのは個人情報保護法でかなり障壁があって難しいとは思いますが、国がどんどん変わりつつありますので、ぜひマイナンバーと紐づけて、法人も個人も、徴収を上げるような施策について、県として何ができるのか考えていただきたいと思います。

皆さんがマイナンバーを取得できるように、取得したいというふうになるように、いろいろ考えていただければ、自動的にこの徴収率も上がるのではないかなと思っております。

現時点ではマイナンバーの本格的活用が始まったばかりですので、具体的な課題として提案できませんでしたが、今後ぜひご検討いただきたいと思います。

【岩崎委員】

説明どうもありがとうございました。

これまで議論のありました点に関しまして、丁寧に修正いただけたように思っておりますので、私から改訂原案に異論はありません。

皆様方のご指摘のとおりですが、まず、職員の皆様で、指針や計画内容を理解して、共有して実施していくということが大事だと思っております。

それが機能的な行政経営や職員のウェルビーイング向上にどう資することができるのかどうかということだと思いますので、全職員で考えていただければと思います。

それと政策の立案実行評価ということで、EBPMを活用しながら、検証モデルを非常に迅速に策定されているということに驚きまして、短期間にまとめられているということ

で、皆様の御尽力に感服しているところでございます。

冒頭に述べた行政経営に貢献できるかとか、ウェルビーイングをどう実現できるかどうか、あるいは市町村連携の在り方をどうすべきかなど、これまでの指摘に対応し、改善策として評価を活かしていただけるように、進めていただければと思います。

【金子委員】

前回の議題の中で、ご質問させていただいたことに対して、お答えいただきましてありがとうございます。

内容につきましても、私からも特段の意見はございません。

前回、評価の仕方について意見を申し上げましたが、そのところを改めてご説明いただいて、どういう評価なのかというようなことが良く理解できました。

前回の4年度から6年度の最終評価表もフォーマットも変わって、わかりやすくなりましたし、それを受けて、おそらくこの次の計画での個票の作成にあたられているということだと思います。

その中で、個票にいろいろ項目が出てきて、それをこの3年後にどうやって評価していくのかということにつながってくると思いますが、例えば今回の最終評価表の中では、目標と期待される効果というものが新たに付け加わっていますが、その関係の中でどういう評価がされていくのでしょうか。

有効度とか進捗率というような評価もあり、分かりやすくなった分だけ複雑化して、3年後に、この個票を評価するときに、県民の方にわかりやすいというか納得感のいく評価になるかというのが今後の課題かというふうに思っています。

今回の個票でも目標、工程、指標というのがあって、それをどういうふうに組み合わせて最終的な評価になるのか。

ここの評価につながるところのプロセスというのが、やはり県民としては興味があり納得感が得やすいところになってくると思います。

今回の計画自体に特段の私の意見はないですが、3年後に評価していくことになると思いますので、その時に向けて、目標と個々の取組工程と指標の関係がどういう形になったら、最終的な評価がAになるのか、Bになるのか、Cになるのか、というようなところのわかりやすさを、ぜひご検討いただきたいと思います。

【村上委員】

44 ページのハラスメント対策の推進で、指標の目標値が書いてありますが、ちょっと目標が低いイメージを持ちます。

例えばパワハラを受けたことがあると回答した職員の割合を1年ごとに1%ずつ減らすというような目標になっていて、セクハラに関しても、0.3%ぐらいずつ減らしていきましようというふうなことでなっていますが、ちょっと弱気かなというように個人的には思います。

どのようにしてお決めになったのか、教えていただければ助かります。

【総務課】

今はハラスメントもいろいろと相談を受けているような状況でございます。

アンケートもありますが、その中で、最初から高い目標というのなかなか立てにくいというのが実感としてありました。

1つ1つ、やっていきたいということで考えています。

ただ、毎年度とるアンケートの中で、効果が出ているということがわかってくれば、当然それを踏まえて、さらなる高みを目指して見直したいという考えです。

【宮入委員】

全体としては、特に異論はないですが、先ほども出ていますように、どうしても指標を一対一対応で設定してしまうと、そこだけ見ていく恐れがあるということは、それはもう注意しながら皆さんで議論されていくということだと思います。

例えば、デジタル人材育成とかデジタルデータの活用について、柱の3と4のところにある34番のデジタル人材育成研修の実施、それから40番のオープンデータの整備と利活用促進、そして48番の大学等との連携。

これはけっこう関連していると思いますが、担当課が違くと全然違う方向を向いて指標が設定されています。

例えば、40番のオープンデータの整備利活用について、今大学では、文化系であっても1年生でデータサイエンスが必修になります。

そして、どんな取組をしているかという、こういったオープンデータとかビッグデータを使って分析をして、その課題について問題提起するとか提案するプレゼンテーションをするということをアクティブラーニング的にやっている大学が結構あって、そのデータを使わせてくださいということがあります。

それから、インターンシップで、こういうデータ分析のインターンシップにかかわらせてくださいという要望が結構ありますが、そういうことを、どこかにパイプがあればお願いしてやらせていただくことはできるけど、しっかりと公開されている自治体さんは少ないです。

そういうようなところで、今データサイエンスを勉強している学生たちが、実際の県の実データを使って分析をして、こんなことができるのではないかと、こういう課題にこれから取り組むべきではないか、ということに関心を持つことで、大学と連携しながら専門人材を集めるということに結びついていくイメージがあります。

担当課が違くと、せっかく関連しているようなところの結節点が失われがちになりますので、そのところをつなげて、相乗効果を上げていくためにも、時々情報交換もされるとよいかなと思います。

【佐久間委員】

計画は3年間で、これはこれで良いと思いますが、長期的に見ると人口減少があり、自然災害が激甚化して、それから地球温暖化が進んでいくという中で、長期的な視野・視点を持って見ていただかないと、もっと厳しい計画を次の3年で立てなくてはいけないことになると思いますので、そこら辺を意識していただきたいと思います。

それと、この3年間の間に、自然災害が起きた、あるいは大幅な金利上昇とかインフレも想定されますので、そのようなことが起きた場合は、ぜひこの計画を修正していただい

て、柔軟に対応していただきたいと思います。よろしくお願いします。

【石川委員】

これまで各委員から文章の表現の問題、定員管理の問題、県民目線の問題、各項目や担当課の違いによる向きの違いといったようなことも指摘されました。

それから、数値だけにこだわるということではなく、検証していくという話も出ましたので、ぜひやっていただきたいと思います。

それから、職員へのこの計画の浸透や達成感を持って事に当たるという心意気の問題も出たと思います。

3年後にどういう評価がされるのかということだと思いますが、やはりできなかったのはなぜか、できたのはなぜか、途中で目標がクリアされたら、次の目標を立てていくということを、機敏にやっていただければと思います。

各委員からは、概ね良いのではないかというご意見でしたので、ただいまのご指摘を含めまして、最後の案を作っていただければと思います。

そこで、知事への答申につきましては、本日の議論や意見を踏まえ、今後、会長にご一任いただくということでよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

ありがとうございます。

答申は、整い次第、知事に提出したいと思います。

7 報告

- (1) 「千葉県行財政改革行動計画（令和4年度～令和6年度）」の取組状況について
(総務課長から資料に基づき説明)

【委員意見なし】

- (2) 県庁舎等再整備に係る検討状況について
(資産経営課長から資料に基づき説明)

【遠藤委員】

県庁舎の改築というのは自治体の各庁舎どこでもそうですが、改築、改修となった途端に、「高すぎる」、「豪華だ」、「そんなもの必要ない」というような議論が生まれてくるというのが現実だなと思っています。

かくいう東京都庁舎も、もう30年以上経ちますが、作ったときには当時の鈴木都知事の黄金の風呂が中にあるのではないかとと言われて、改築オープン前に庁舎の見学会をやりましたが、見学会が終わったら作るのだろーと言われてました。

まだSNSがない時代でしたから、それぐらいで済みましたけど、非常に理不尽なことも言われ、担当の方がご苦勞をされると思いますが、そこは頑張っていただきたいと思います。

今の方向性の中で示された拡張性、可変性とかメンテナンスの問題とかは、きっちりと当初に必要な初期投資をしておかないと、結果的にお金がかかり、財政負担が後々のしかかってきて、それをまた先送りしていくと、いざというときに機能しない、例えば災害のときに動かないというようなことも起きます。

いろいろな意見があるとは思いますが、正しいと思ったことは躊躇せずに頑張ってやっていただきたいというのを、自治体OBとしてエールを送りたいと思います。

【宮入委員】

もう 62 年も経っていれば、さすがにここで働いている方もドキドキしているのではないかなと思います。

私も子供の頃からずっと千葉市のこの辺りを見てきましたが、残念ながら歴史ある他県と比べてみて、やっぱりなんというか、ランドマークになるような県庁になっていないという気がします。

というのは、地域によっては中心都市のシンボルとして市庁舎とか県庁舎があって、その周りの環境も含めて開発されて、非常に整ったまちづくりがされているところも結構あります。

そうせざるを得ないところもあって、いろんな機能を庁舎に集めるということにだんだんなってきました。

千葉県はまだ大丈夫というところもあると思いますが、やっぱり周辺部が寂れていると美しくないですし、ましてや観光するところではなくなってしまいます。

千葉城とか文化会館とかも、いろいろと整備はされているとは思いますが、やっぱり一体として考えて、その中で県庁がどうなっていくのか、どうやって牽引していくのかという思想を持って、地域の活性化に貢献していただくような構想を練っていただけると、ふるさとのため、うれしいなと思います。

8 その他

【総務部長】

本日は会長をはじめ委員の皆様には前回から引き続き、ご審議いただきましてありがとうございます。

計画の改定につきましては、いただいたご意見や今後の答申等を踏まえまして、内部で検討の上、必要な修正を行って、知事を本部長とする本部会議に諮って最終的な決定をしたいと考えております。

行財政改革というものは、不断の見直しが必要だと考えておりますので、今回計画を作って終わりというわけではなく、本日皆様からいただいたご意見も踏まえながら、歳出・歳入、あるいは組織とか人事も含めて、さらに県民にもわかりやすい指標とするという辺りも念頭に置きながら、日々、精進してまいりたいと思っております。

本日は長時間にわたり、ご審議いただきありがとうございました。